

当別町防災備蓄計画

第Ⅱ期

(令和4年度～令和13年度)

令和4年4月

(最終改訂 令和7年3月)

当別町

目 次

はじめに	P 2
1 地域防災計画の現状と課題について	P 3
(1) 流通備蓄	P 3
(2) 保管備蓄	P 3
2 策定の基本的考え方について	P 4
(1) 物資供給対象者数	P 4
(2) 備蓄品目	P 5
(3) 備蓄目標	P 8
3 備蓄の考え方及び年次計画について	P 15
4 備蓄保管施設について	P 16
5 計画の取り進めについて	P 19
別表	P 20
策定・改正履歴	P 60

はじめに

町では、「当別町地域防災計画」に基づき、災害時における協力体制に関する各種協定等を計画的に締結し、不測の事態に備えて、必要最低限の非常食や生活必需品、各種資器材等の備蓄を行っています。

平成23年3月11日、三陸沖を震源とする東日本大震災では、マグニチュード9.0、最大震度7.2が観測され、死者15,899人、負傷者6,167人、行方不明者2,526人、建物被害について全壊、半壊合わせて405,117戸、道路損壊4,198か所、橋梁被害116か所など多くの尊い人命が失われ、ライフラインや交通手段が寸断し、自治体の公共施設においても大きな損害を受けました。※1

また、平成30年9月6日には、北海道胆振東部地震が発生し、本町においても震度4※2の揺れを観測するとともに、北海道全域が停電となる「ブラックアウト」の影響により、町内全域が停電する事態となりました。

さらに、近年では、急変する気象の影響により、集中豪雨による浸水や土砂災害、大雪・暴風雪による通行止め等が全国各地で頻発しており、町民の生命、身体及び財産を守る防災の取り組みは喫緊かつ最重要課題となっています。

このような状況を踏まえ、本計画では、災害時に迅速・円滑な応急対策活動に資する備蓄体制の確保を進めることにより、本町における持続可能なまちづくりを推進することを目的として、必要な物資の整備について定めるものです。

なお、この計画については、必要に応じ適宜見直しを行うこととします。

※1 各数値については、警察庁広報資料（R3.3.10）による。※2 気象庁資料（当別町白樺地点）による。

1 地域防災計画の現状と課題について

当別町地域防災計画では、災害時において住民の生活を確保するため、食料その他の物資及び防災資器材の整備に努めることとされ、災害時に緊急に必要な食料及び生活必需品の確保については、緊急物資調達に関する機関・業者との調達協定や相互応援協定の締結、公共備蓄すべき物資の備蓄に努めるとともに、物資の集積場所は、一時的に集積する拠点施設を選定し、そこを拠点に配布するように示されています。

(1) 流通備蓄

当別町における現在の備蓄状況及び調達に関する協定先は、次のとおりです。

会社名等	協定区分
(株)ラルズ	食料品等
北石狩農業協同組合	食料品等
(株)セコマ	食料品等
当別建設協会	資機材等
(株)共成レンテム	資機材等
当別町石油協会	燃料等
北海道薬剤師会札幌支部石狩支部	医薬品等
北海道コココーラボトリング(株)	飲料及び災害対応型自動販売機
北海道キリンビバレッジ(株)	A E D搭載自動販売機
北海道エルピーガス災害対策協議会石狩支部	L P ガス等
(株)ロイズコンフェクト	食料品等
(株)セブーン・イレブン・ジャパン	食料品等
(株)トーモク札幌工場	段ボールベッド
サツドラホールディングス(株)	生活物資等
N P O 法人コメリ災害対策センター	生活物資等

(2) 保管備蓄

本町では、平成24年に策定した計画に基づき、食料や毛布等の保管備蓄を進めており、一定の備蓄を確保しています。

しかし、食料など保存期間が定まっている品目については、計画的に入れ替えを行うとともに、近年の社会情勢等を踏まえ、感染症対策にかかる物品や避難者の避難所における生活の質の向上に必要な物品などについて、新たに備蓄を検討する必要があります。

また、本町において、大規模災害が発生した場合、ライフラインの復旧や協定先の被災など、さまざまな理由から災害発生直後の物資の調達が困難になる事態も想定し、平常時から物資と量を決めた上で計画的に備蓄しておくことが必要です。

さらに、災害はいつ何処で発生するものかわからず、発生場所によって被害もさまざまであることから、備蓄物資については、来るべき災害に備え、当町の中でもより安全であり、物資の管理上適した場所に分散して保管しておくことが必要です。

2 策定の基本的考え方について

令和3年5月に国が策定した「防災基本計画」では、防災知識の普及の項目において、住民は「最低3日間、推奨1週間」分の物資の備蓄に努めるよう啓発することとされています。

また、防災の基本理念として、「国、地方公共団体及び指定公共機関は、それぞれの機関の果たすべき役割を的確に実施していくとともに、相互に密接な連携を果たす」こと、周到かつ十分な災害予防として、「災害時の災害応急対策、その後の災害復旧・復興を迅速かつ円滑に行うため、災害応急活動体制や情報伝達体制の整備、施設・設備・資機材等の整備・充実を図るとともに、必要とされる食料・飲料水等を備蓄する。」こととされています。

そのため、本計画では、大規模災害時に家屋の倒壊・消失等により避難した住民が、救援物資が到達するまでの間、避難所において最低限必要な食料・生活必需品及び行政の応急対策要員用の物資を選定し、本町が保管すべき備蓄物資を決定するものとします。

なお、本計画については適時見直しを行い、新たな課題が生じた場合には、その都度検討を加え、修正するものとします。

(1) 物資供給対象者数

阪神・淡路大震災や2000年鳥取県西部地震の被害結果に基づき作成された、木造・非木造共に建築年代別に被害を評価することができる内閣府の手法を適用した場合、「全国どこでも起こりうる直下の地震・マグニチュード 6.9」発生時の想定被害状況が建物全壊棟数8.2%の想定結果となっています。

また、算定の根拠となる人口等は、令和3年10月現在とします。

$$\begin{aligned} \text{当別町の人口} & 15,428 \text{人} \times 8.2\% = 1,265 \text{人} \\ & 1,265 \text{人} \div 1,300 \text{人} \quad \text{と算定しました。} \end{aligned}$$

家屋の全壊により住む場所を失った方は、避難所で生活することを余儀なくされ、かつ、物資の確保が困難と想定されます。

よって、物資供給対象者数は 1,300人 とします。

また、物資供給対象者数1,300人のうち、食料及び生活必需品について、個別対応が必要となる年齢区分を次のとおりとします。

【年齢区分及び町内人口】

年齢区分	町内人口	個別対応が必要となる主要備蓄品					
		液体ミルク	アルファ化米(粥)	紙おむつ(乳児用)	紙おむつ(幼児用)	紙おむつ(高齢者用)	生理用品
0歳	40	○		○			
1歳	61		○		○		
2、3歳	111				○		
80歳以上	1,808		○				
10～55歳女性	3,305						○
要介護認定3以上	359					○	

(2) 備蓄品目

備蓄品目については、緊急性があり、家屋が全壊又は焼失により避難した住民にとって災害発生から救援物資が到達するまでの間、必要不可欠な食料及び生活必需品などを選定します。

ア 食料

備蓄食料は、次の品目について備蓄します。

0歳 液体ミルク

1歳及び80歳以上 アルファ化米(粥)

粥(災害発生直後の一食目用。水が不要のもの)

2歳から79歳 アルファ化米

パン(災害発生直後の一食目用)

全年代 飲料水

(ア) アルファ化米

比較的日常生活の主食に近い米飯であるアルファ化米を備蓄します。なお、複数回の食事を想定し、複数の品目を備蓄します。

(イ) パン

災害発生直後は、湯を沸かせない状況も想定されることから、災害発生直後の一食目用として水が不要なパンを備蓄します。

(ウ) アルファ化米(粥)

高齢者及び離乳食を必要とする幼児を対象とし、アルファ化米(粥)を備蓄します。

(エ) 粥(水が不要のもの)

災害発生直後は、湯を沸かせない状況も想定されることから、高齢者及び離乳食を必要とする幼児の災害発生直後の1食目用として水が不要な粥を備蓄します。

(オ) 飲料水

水道が震災により断水される可能性があるため、飲料水を備蓄します。

- (カ) 液体ミルク
乳児を対象とし、ミルクを備蓄します。発災初期の断水等も想定し、液体ミルクを選定します。

- イ 生活必需品
避難所生活において必要となる次の品目について備蓄します。
 - (ア) 毛布
防寒及び身体の苦痛緩和対策として、毛布を備蓄します。
 - (イ) 備蓄マット
防寒及び身体の苦痛緩和対策として、避難所の床に布設するマットを備蓄します。
 - (ウ) 段ボールベッド
子ども（0～15歳）及び高齢者（60歳以上）を対象とし、段ボールベッドを備蓄します。

- ウ 感染症対策用品
感染症対策用として、次の品目について備蓄します。
 - (ア) マスク
避難者及び災害対策本部等で従事する職員用として、使い捨てのサージカルマスクを備蓄します。
 - (イ) 手指消毒剤
避難者及び災害対策本部等で従事する職員用として、手指消毒剤を備蓄します。

- エ 情報伝達器具
災害時の情報伝達器具として、次の品目について備蓄します。
 - (ア) 拡声器
主要避難所（7か所。総合体育館、白樺コミュニティーセンター、旧当別小学校、とうべつ学園、西当別コミュニティーセンター、西当別小学校、西当別中学校。以下同じ。）及び災害対策本部用として、拡声器を備蓄します。
 - (イ) 携帯ラジオ
主要避難所及び災害対策本部用として、携帯ラジオを備蓄します。
 - (ウ) 防災用移動デジタル無線
指定避難所及び災害対策本部用として、防災用移動デジタル無線を備蓄します。

- オ 衛生関係用品
災害時の衛生関係用品として、次の品目について備蓄します。
 - (ア) 簡易トイレ
主に避難所用として、簡便に設置でき水を使用しない簡易トイレを備蓄します。

(イ) 汚物処理用品

主に避難所に設置する簡易トイレや設置されている既存のトイレで使用する汚物処理用品を備蓄します。

(ウ) トイレトペーパー

主に避難所に設置する簡易トイレや設置されている既存のトイレで使用するトイレトペーパーを備蓄します。

(エ) ウェットティッシュ

主に避難所で使用する衛生用品として、ウェットティッシュを備蓄します。

(オ) おむつ (子ども用)

主に避難所に避難する乳幼児用として、子ども用おむつを備蓄します。

(カ) おむつ (大人用)

主に避難所に避難する介助が必要な方用として、大人用おむつを備蓄します。

(キ) 生理用品

主に避難時に避難する生理用品が必要な方用として、生理用品を備蓄します。

(ク) ごみ袋

主に避難所で使用する衛生用品として、ごみ袋を備蓄します。

カ 資器材等

災害時の停電や防寒、防暑対策等、避難所設営等に活用が可能な資器材等として、次の品目について備蓄します。

(ア) 発電機

停電により電気が使用できない際の非常用発電機を備蓄します。なお、機種については取扱いが簡易な移動式の発電機を備蓄することとし、大型のエンジン式発電機等については、必要に応じ災害時の応援協定を締結している事業者より支援を受けることとします。

(イ) 照明器具

停電により電気が使用できない際の非常用発電機を備蓄します。なお、種類については充電式や太陽光発電式によるLED照明を備蓄します。

(ウ) 資器材等

救助用に次の資器材を1組にして備蓄します。

平バール、大ハンマ、スコップ、ボルトクリッパー、バチツルハシ、レスキューアックスオノ、折込ノコギリ、ロープ、滑り止め軍手、ゴーグル、防塵マスク、サバイバルシート、ホイッスル、救急パック (伸縮パック・カット絆・ワンタッチパット)、ショルダー式布担架、ヘルメット

(エ) テント

主に避難所用として、テントを備蓄します。

(オ) パーテーション

主に避難所用として、パーテーションを備蓄します。

- (カ) 冬期対策用ストーブ
冬期間の避難者に対する防寒対策として、移動式灯油ストーブを備蓄します。
- (キ) ジェットヒーター
冬期間の避難者に対する防寒対策として、ジェットヒーターを備蓄します。
- (ク) 使い捨てカイロ
冬季間の避難者に対する防寒対策として、使い捨てカイロを備蓄します。
- (ケ) 扇風機
避難者の防暑対策として、扇風機を備蓄します。

(3) 備蓄目標

食料及び生活必需品について、物資供給対象者数1,300人に対して、次の目標で備蓄します。
ただし、個別対応が必要な備蓄品については、それぞれ該当人数から算出した物資供給対象者数を元に備蓄します。

ア 食料

(ア) アルファ化米

1人当たり1日3食分とし、3日分を備蓄します。ただし、災害発生直後は水が不要なパンの提供を想定することから、1日目は2食分とします。

対象者数 2～79歳 13,519人
 $13,519人 \times 8.2\% \div 1,200人$

【目標数量】

1日目 $1,200人 \times 2食 \times 1日分 = 2,400食$
2,3日目 $1,200人 \times 3食 \times 2日分 = 7,200食$
合計 9,600食

(イ) パン

災害発生直後の提供を想定し、1食分を備蓄します。

対象者数 2～79歳 13,519人
 $13,519人 \times 8.2\% \div 1,200人$

【目標数量】

$1,200人 \times 1食 = 1,200食$

(ウ) アルファ化米(粥)

1人当たり1日3食分とし、3日分を備蓄します。ただし、災害発生直後は水が不要な粥の提供を想定することから、1日目は2食分とします。

対象者数 1歳、80歳以上 1,869人
 $1,869人 \times 8.2\% \div 200人$

【目標数量】

1日目 200人×2食×1日分= 400食

2, 3日目 200人×3食×2日分= 1, 200食

合計 1, 600食

(エ) 粥(水が不要のもの)

高齢者及び離乳食を必要とする幼児への災害発生直後の提供を想定し、1食分を備蓄します。

対象者数 1歳、80歳以上 1, 869人

1, 869人×8. 2%≒200人

【目標数量】

200人×1食×= 200食

(オ) 飲料水(1, 500ml)

1人当たり1日1本とし、3日分を備蓄します。

【目標数量】

1, 300人×3本= 3, 900本

(カ) 液体ミルク

1人当たり1日1, 000mlとし、3日分を備蓄します。

対象者数 0歳 40人

40人×8. 2%≒4人

【目標数量】

缶(240ml)に入った品を想定し、1人当たり1日5缶とします。

4人×5缶×3日分=60缶

イ 生活必需品

(ア) 毛布

1人当たり2枚として備蓄します。

【目標数量】

1, 300人×2枚= 2, 600枚

(イ) 備蓄マット

1人当たり1枚として備蓄します。

1, 300人×1枚= 1, 300枚

(ウ) 段ボールベッド

1人当たり1台を備蓄します。

対象者数 0~15歳及び60歳以上 8, 222人

8, 222人×8. 2%≒700人

【目標数量】

700人×1台= 700台

ウ 感染症対策用品

(ア) マスク

1人当たり1日1枚とし、3日分を備蓄します。

対象者数	避難者	1,300人
	対策本部	200人
	合計	1,500人

【目標数量】

1,500人×1枚×3日分=4,500枚

(イ) 手指消毒剤

災害対策本部用として、消毒回数を1人当たり1日2回とし、3日分を備蓄します。

避難所用として、規模の大きい避難所は5本分(1L)、規模の小さい避難所は2本分(1L)を備蓄します。

【目標数量】

災害対策本部用 200人×5ml×2回×3日分=6L

1本(1L)の品を想定 6本

避難所用 大規模避難所(15か所。総合体育館、白樺コミュニティーセンター、旧当別小学校、とうべつ学園、当別高校、北海道医療大学、ハッピーバレーゴルフクラブ、石狩平原カントリークラブ、西当別コミュニティーセンター、西当別小学校、西当別中学校、ふとみ銘泉、北欧の風道の駅とうべつ、スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部、総合保健福祉センターゆとろ。以下同じ。)は、各施設に5本。

15か所×5本=75本

小規模避難所(13か所。ふれあい倉庫、旧弁華別中学校、青山会館、旧中小屋小学校、中小屋会館、東裏地域会館、南部地域会館、東蕨岱会館、川下会館、当別太会館、獅子内会館、高岡会館。以下同じ。)は、各施設に2本。

12か所×2本=24本

合計 99本

エ 情報伝達器具

(ア) 拡声器

災害対策本部用として2台、主要避難所用として7台を備蓄します。

【目標数量】

災害対策本部用2台+主要避難所用7台=9台

(イ) 携帯ラジオ

災害対策本部用として2台、主要避難所用として7台を備蓄します。携帯ラジオは、手回し充電機能のものを中心に備蓄します。

【目標数量】

災害対策本部用 2 台 + 主要避難所用 7 台 = 9 台

(ウ) 防災用移動デジタル無線

災害対策本部用 1 台、主要避難所のうち、総合体育館及び西当別コミュニティーセンター用として 2 台を整備します。

【目標数量】

災害対策本部用 1 台 + 主要避難所 2 台 = 3 台

オ 衛生関係用品

(ア) 簡易トイレ

大規模避難所は、各施設に 4 台。15 か所 × 4 台 = 60 台。

小規模避難所は、各施設に 2 台。12 か所 × 2 台 = 24 台。

(イ) 汚物処理用品

汚物処理用品（凝固剤及び汚物処理袋）は、トイレの利用回数を 1 人当たり 1 日 5 回とし、3 日分を備蓄します。

対象者数 2 歳～ 15, 327 人

15, 327 人 × 8. 2% = 1, 256 人 ÷ 1, 260 人

【目標数量】

1, 260 人 × 5 回 × 3 日分 = 18, 900 回分

(ウ) トイレトペーパー

トイレトペーパーは、1 人当たり 1 日 8 m 分とし、3 日分を備蓄します。

対象者数 2 歳～ 15, 327 人

15, 327 人 × 8. 2% = 1, 256 人 ÷ 1, 260 人

【目標数量】

1, 260 人 × 8 m × 3 日分 = 30, 240 m 分

(1 ロール 50 m とすると、605 ロール。)

(エ) ウェットティッシュ

ウェットティッシュは、1 世帯（4 人と仮定。）に 1 日 2 パック（30 枚入り程度）とし、3 日分を備蓄します。

【目標数量】

1, 300 人 ÷ 4 人 × 2 × 3 日分 = 1, 950 パック ÷ 2, 000 パック

(オ) おむつ（子ども用）

おむつ（子ども用）は、0 歳から 3 歳を対象とします。

対象人数は、乳児（0 歳）40 人、幼児（1～3 歳）172 人。

1 人当たり 1 日 10 枚使用とし、3 日分を備蓄します。

【避難想定者数】

乳児 40 人 × 8. 2% = 3. 28 人 ÷ 4 人

幼児 172 人 × 8. 2% = 14. 1 人 ÷ 15 人

【目標数量】

乳児 4人×10枚×3日分=120枚

幼児 15人×10枚×3日分=450枚

(カ) おむつ (大人用)

おむつ (大人用) は、要介護度3以上の者を対象とします。1人当たり1日5回とし、3日分を備蓄します。

要介護度3以上 359人

【避難想定者数】

避難者数 359人×8.2%=29.43人≒30人

【目標数量】

30人×5枚×3日分=450枚

(キ) 生理用品

生理用品は、10～55歳の女性を対象とします。1人当たり1日8枚とし、3日分を備蓄します。

10～55歳の女性 3,305人

【避難想定者数】

3,305人×8.2%=271.01人≒272人

ただし、一か月4週とし、生理用品が必要な人数を4分の1とする。

272人÷4週=68人

【目標数量】

68人×8枚×3日分=1,632枚

(ク) ごみ袋

大規模避難所は、各施設に30枚とする。15か所×30枚=450枚。

小規模避難所は、各施設に10枚とする。12か所×10枚=120枚。

本部用は、30枚とする。

【目標数量】

600枚

カ 資器材等

(ア) 発電機

災害対策本部や主要避難所等で自家発電機等が設置されていない施設用として備蓄します。

【目標数量】

本町地区

災害対策本部7台+主要避難所(3ヶ所)6台+福祉避難所2台=15台

太美地区

西当別支所4台+主要避難所(3ヶ所)6台=10台 合計25台

※主要避難所のうち、総合体育館は太陽光発電設備及び蓄電池を設置しているため、対

象としない。

(イ) 照明器具

災害対策本部や指定避難所等用として備蓄します。

【目標数量】

災害対策本部及び大規模避難所（ただし、総合体育館を除く。）14か所について、投光器4個及びLEDランタン及びLEDソーラーライト10個

投光器 15か所×4個=60個

LEDランタン及びLEDソーラーライト 15か所×10個=150個

小規模避難所12か所について、投光器2個及びLEDランタン10個

投光器 12か所×2個=24個

LEDランタン及びLEDソーラーライト 12か所×10個=120個

合計 投光器 84個

LEDランタン及びLEDソーラーライト 270個

(ウ) 資器材等

資器材については、災害対策本部及び太美町污水处理センターに備蓄します。

【目標数量】

災害対策本部1組+太美町污水处理センター1組=2組

(エ) テント

テントについては、大規模避難所に備蓄します。

【目標数量】

15張

(オ) パーテーション

パーテーションについては、避難所における感染症対策及びプライバシーへの配慮のため、必要分を備蓄します。

【目標数量】

パーテーション（小） 24張

パーテーション（中） 15張

パーテーション（大） 100張

(カ) 冬期対策用ストーブ

移動式灯油ストーブについては、災害対策本部及び主要避難所に備蓄します。なお、保管場所は、各避難所のほか、必要に応じ、総合体育館、白樺コミュニティーセンター、旧当別小学校、とうべつ学園分は役場防災倉庫に、西当別コミュニティーセンター、西当別小学校、西当別中学校分は太美町污水处理センターに保管します。

【目標数量】

災害対策本部5台+主要避難所用30台+大規模避難所16台+小規模避難所13台
=64台

(キ) ジェットヒーター

ジェットヒーターについては、主要避難所及び福祉避難所用として備蓄します。

【目標数量】

主要避難所及び福祉避難所用 10 台

(ク) 使い捨てカイロ

1 人当たり 1 日 2 個とし、3 日分を備蓄します。

【目標数量】

1,300 人 × 2 個 × 3 日分 = 7,800 個

(ケ) 扇風機

扇風機については、災害対策本部及び大規模避難所 15 か所のうち、全館冷房が設置されている総合保健福祉センターゆとろ以外の町有施設 8 施設用として備蓄します。

なお、保管場所は、各避難所のほか、必要に応じ、総合体育館、白樺コミュニティーセンター、旧当別小学校、とうべつ学園分は役場防災倉庫に、西当別コミュニティーセンター、西当別小学校、西当別中学校分は太美町污水处理センターに保管します。

【目標数量】

災害対策本部 7 台 + 主要避難所 14 台 + 大規模避難所 7 台 + 小規模避難所 13 台
合計 41 台

3 備蓄の考え方及び年次計画について

各備蓄品を備蓄する際の考え方について、次のとおりとし、防災備蓄年次計画を別表1のとおり定めます。

また、備蓄品ごとの詳細計画については、別表2-1から2-33のとおりとします。

(1) 食料

アルファ化米、パン、アルファ化米（粥）、粥（水が不要のもの）、飲料水及び液体ミルクは、計画的に備蓄します。

また、アルファ化米、パン、アルファ化米（粥）及び粥（水が不要のもの）については、想定する保存期限である5年、飲料水については、想定する保存期限である10年を踏まえ、残存期限が1年となった時点で入れ替える（ローリングストック）計画とします。（別表3～7）

なお、賞味期限が1年を切った食料については、自主防災組織の訓練や啓発講座の開催時や小・中学校の防災教育、町で開催するイベントなどで活用することにより、防災意識の醸成を図ります。

(2) 生活必需品

毛布、備蓄マット及び段ボールベッドは、計画的に備蓄します。

また、真空パックした製品を購入するなど、長期保存を見据えて備蓄を進めます。

(3) 感染症対策用品

マスク、手指消毒剤は、使用期限を踏まえながら計画的に備蓄します。

また、防災教育やイベント等での使用により、防災意識の醸成を図ります。

(4) 情報伝達器具

拡声器、携帯ラジオ及び防災用移動デジタル無線は、耐用年数等を踏まえながら計画的に備蓄します。

(5) 衛生関係用品

簡易トイレ（処理用品含む）は、耐用年数等を踏まえながら計画的に備蓄します。

トイレットペーパー、ウェットティッシュ、おむつ、生理用品及びゴミ袋は使用期限を踏まえながら計画的に整備します。また、防災教育やイベント等での使用により、防災意識の醸成を図ります。

(6) 資器材等

発電機、照明器具、資器材等、テント、パーテーション、冬期対策用ストーブ、ジェットヒーター、使い捨てカイロ及び扇風機は、耐用年数等を踏まえながら計画的に備蓄します。

4 備蓄保管施設について

備蓄品の保管について、災害時に迅速な供給を図るため、分散して備蓄します。

現在、当別町には、指定避難所に指定されている施設が26か所ありますが、備蓄を行うに当たり、収容規模が大きい施設を優先し、本町地区と太美地区のバランスを考慮したうえで、主な食料であるアルファ化米及び飲料水の備蓄施設を表1-1、1-2のとおり選定するとともに、収容人数の割合から想定物資供給対象者数を設定しました。

ただし、施設によっては備蓄品を保管する場所が確保できない場合もあるため、災害時に防災拠点となる当別町役場防災倉庫と当別消防署、平成29年度に開設した北欧の風道の駅とうべつ敷地内に設置した防災倉庫及び令和2年度に総合保健福祉センターゆとろ敷地内に設置した防災倉庫についても、必要に応じ各種備蓄品の備蓄場所とします。

また、太美地区については、避難者の多い避難所への物資供給を考慮し、太美町污水处理センターを備蓄場所として使用します。

なお、各備蓄施設における備蓄量の基となる物資供給対象者数は、各避難所の想定収容人数から算定し、各施設の備蓄スペースも考慮しながら備蓄を進めることとします。

表1-1 備蓄施設及び想定物資供給対象者数（アルファ化米）

地区	備蓄施設	収容人数 (人)	人数比率 (%)	想定物資供給対象者数
本町地区	当別町役場防災倉庫	-	-	(予備分を備蓄)
	当別消防署	-	-	(予備分を備蓄)
	ゆとろ防災倉庫	-	-	(予備分を備蓄)
	当別町総合体育館	707	33.94%	407≒410
	旧当別小学校	756	11.82%	141≒140
	とうべつ学園	639	12.12%	145≒150
	小計	2,102	57.88%	700
太美地区	太美町污水处理センター	-	-	(予備分を備蓄)
	北欧の風道の駅とうべつ防災倉庫	-	-	(予備分を備蓄)
	西当別コミュニティーセンター	602	23.02%	276≒280
	西当別小学校	605	9.70%	116≒110
	西当別中学校	644	9.40%	112≒110
	小計	1,851	42.12%	500
合計		3,953	100.00%	1,200

表 1 - 2 備蓄施設及び想定物資供給対象者数（飲料水）

地区	備蓄施設	収容人数 (人)	人数比率 (%)	想定物資供給対象者数
本町地区	当別町役場防災倉庫	-	-	(予備分を備蓄)
	当別消防署	-	-	(予備分を備蓄)
	ゆとろ防災倉庫	-	-	(予備分を備蓄)
	当別町総合体育館	707	33.94%	442≒440
	旧当別小学校	756	11.82%	154≒150
	とうべつ学園	639	12.12%	157≒160
	小計	2,102	57.88%	750
太美地区	太美町污水处理センター	-	-	(予備分を備蓄)
	北欧の風道の駅とうべつ防災倉庫	-	-	(予備分を備蓄)
	西当別コミュニティーセンター	602	23.02%	300
	西当別小学校	605	9.70%	126≒130
	西当別中学校	644	9.40%	122≒120
	小計	1,851	42.12%	550
合計		3,953	100.00%	1,300

各避難施設の物資供給対象者数を基に、備蓄品数量を設定します。

ただし、食料のうち、アルファ化米及び飲料水の備蓄品数量について、備蓄施設の備蓄スペース及び管理等を考慮し、最低1日分の食料等を備蓄することとし、2日目以降分については、当別町役場、太美町污水处理センター等に備蓄し、災害が発生した場合は、避難状況をみながら物資が不足している避難所に運搬します。

表2 食料（アルファ化米及び飲料水）の備蓄品数量

地区	備蓄施設	品目	想定物資供給 対象者数	1日分	2日分	3日分
本町地区	当別町総合体育館	アルファ化米	410	1,230	2,460	3,690
		飲料水	440	440	880	1,320
	旧当別小学校	アルファ化米	140	420	840	1,260
		飲料水	150	150	300	450
	とうべつ学園	アルファ化米	150	450	900	1,350
		飲料水	160	160	320	480
	小計	アルファ化米	700	2,100	4,200	6,300
		飲料水	750	750	1,500	2,250
太美地区	西当別コミュニティー センター	アルファ化米	280	840	1,680	2,520
		飲料水	300	300	600	900
	西当別小学校	アルファ化米	110	330	660	990
		飲料水	130	130	260	390
	西当別中学校	アルファ化米	110	330	660	990
		飲料水	120	120	240	360
	小計	アルファ化米	500	1,500	3,000	4,500
		飲料水	550	550	1,100	1,650
合計	アルファ化米	1,200	3,600	7,200	10,800	
	飲料水	1,300	1,300	2,600	3,900	

5 計画の取り進めについて

「防災備蓄年次計画」(別表1)に基づき、備蓄保管場所の施設管理者と協議を行いながら、計画的に備蓄を推進するとともに、備蓄品の適正管理に努めます。

なお、本計画については適時見直しを行い、新たな課題が生じた場合には、その都度検討を加え、修正するものとします。

資料（別表）

資 料 一 覧

別 表 1	防災備蓄年次計画
別 表 2 - 1	アルファ化米
別 表 2 - 2	パン
別 表 2 - 3	アルファ化米（お粥）
別 表 2 - 4	粥（水不要）
別 表 2 - 5	飲料水
別 表 2 - 6	液体ミルク
別 表 2 - 7	毛布
別 表 2 - 8	備蓄マット
別 表 2 - 9	段ボールベッド
別 表 2 - 1 0	マスク
別 表 2 - 1 1	手指消毒剤
別 表 2 - 1 2	拡声器
別 表 2 - 1 3	携帯ラジオ
別 表 2 - 1 4	防災用移動デジタル無線
別 表 2 - 1 5	簡易トイレ（ラップポン・トレッカー）
別 表 2 - 1 6	汚物処理用品
別 表 2 - 1 7	トイレットペーパー
別 表 2 - 1 8	ウェットティッシュ
別 表 2 - 1 9	乳児（0歳）用おむつ
別 表 2 - 2 0	幼児（1～3歳）用おむつ
別 表 2 - 2 1	大人（要介護度3以上）用おむつ
別 表 2 - 2 2	生理用品
別 表 2 - 2 3	ごみ袋
別 表 2 - 2 4	発電機
別 表 2 - 2 5	照明器具（投光器）
別 表 2 - 2 6	照明器具（ランタン・ソーラーライト）
別 表 2 - 2 7	資機材
別 表 2 - 2 8	テント
別 表 2 - 2 9	パーテーション
別 表 2 - 3 0	ストーブ
別 表 2 - 3 1	ジェットヒーター
別 表 2 - 3 2	使い捨てカイロ
別 表 2 - 3 3	扇風機
別 表 3	アルファ化米のローリングストック計画
別 表 4	パンのローリングストック計画
別 表 5	アルファ化米（粥）のローリングストック計画
別 表 6	粥（水不要）のローリングストック計画
別 表 7	飲料水のローリングストック計画

※別表中、総合体育館には白樺コミュニティーセンター分も含む。

防災備蓄年次計画

(別表1)

No.	品目	備蓄数	第2期										
			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031
1	アルファ化米	計画	8,400	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
		累計	15,100	12,950	11,500	10,600	11,400	11,500	11,400	11,100	11,000	10,800	10,800
		当該年度	2,000	2,800	2,800	3,000	2,800	2,900	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700
2	パン	計画	0	0	300	300	300	300	300	300	300	300	300
		累計	0	0	300	600	900	1200	1200	1200	1200	1200	1200
		当該年度	0	0	300	300	300	300	300	300	300	300	300
3	アルファ化米 (粥)	計画	0	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800	1800
		累計	950	450	850	1300	1750	1750	1800	1800	1800	1800	1800
		当該年度	0	450	400	450	450	450	450	450	450	450	450
4	粥(水が不要 のもの)	計画	0	0	50	100	150	200	200	200	200	200	200
		累計	0	0	50	100	150	200	200	200	200	200	200
		当該年度	0	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50
5	飲料水	計画	4200	3900	3900	3900	3900	3900	3900	3900	3900	3900	3900
		累計	3822	4206	3950	4024	4124	4524	4620	4020	4500	4000	4400
		当該年度	900	400	480	480	400	400	400	400	480	400	400
6	液体ミルク	計画	0	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
		累計	0	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
		当該年度	0	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
7	毛布	計画	1400	2600	2600	2600	2600	2600	2600	2600	2600	2600	2600
		累計	1528	1528	1728	1928	2128	2328	2600	2600	2600	2600	2600
		当該年度	200	0	200	200	200	200	272	0	0	0	0
8	備蓄マット	計画	707	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300
		累計	1010	1210	1210	1210	1210	1210	1210	1300	1300	1300	1300
		当該年度	200	200	0	0	0	0	0	90	0	0	0
9	段ボールベッド	計画	707	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700
		累計	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700
		当該年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	マスク	計画	0	4500	4500	4500	4500	4500	4500	4500	4500	4500	4500
		累計	0	1100	2200	3300	4500	4500	4500	4500	4500	4500	4500
		当該年度	0	1100	1100	1100	1200	1100	1100	1100	1200	1100	1100
11	手指消毒剤	計画	0	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
		累計	0	75	150	150	150	150	150	150	150	150	150
		当該年度	0	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
12	拡声器	計画	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
		累計	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
		当該年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	携帯ラジオ	計画	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
		累計	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
		当該年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	防災用移動デ ジタル無線	計画	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		累計	0	3	3	5	5	5	3	3	3	3	3
		当該年度	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0
15	簡易トイレ	計画	0	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84
		累計	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64
		当該年度	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
16	汚物処理用品	計画	0	19500	19500	19500	18900	18900	18900	18900	18900	18900	18900
		累計	0	1250	2500	3750	6000	8250	10500	12750	15000	17250	18900
		当該年度	0	1250	1250	1250	2250	2250	2250	2250	2250	2250	1650
17	トイレトペー パー	計画	0	605	605	605	605	605	605	605	605	605	605
		累計	0	0	605	605	605	605	605	605	605	605	605
		当該年度	0	0	605	0	0	0	0	0	0	0	0
18	ウェットティ ッシュ	計画	0	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
		累計	0	200	400	600	800	1000	1200	1400	1600	1800	2000
		当該年度	0	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
19	おむつ(子ども (乳児)用)	計画	0	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
		累計	0	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
		当該年度	0	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	おむつ(子ども (幼児)用)	計画	0	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450
		累計	0	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450
		当該年度	0	450	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	おむつ(大人 用)	計画	0	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450
		累計	0	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450
		当該年度	0	450	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	生理用品	計画	0	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
		累計	0	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
		当該年度	0	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	ゴミ袋	計画	0	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
		累計	0	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
		当該年度	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	発電機	計画	7	8	8	23	25	25	25	25	25	25	25
		累計	15	21	21	25	25	25	25	25	25	25	25
		当該年度	0	6	0	4	0	0	0	0	0	0	0
25	照明器具 (投光器)	計画	0	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84
		累計	4	4	16	28	40	52	64	76	84	84	84
		当該年度	0	0	12	12	12	12	12	12	8	0	0
26	照明器具 (ランタン・ソーラ ーライト)	計画	0	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270
		累計	139	139	189	239	270	270	270	270	270	270	270
		当該年度	0	0	50	50	31	0	0	0	0	0	0
27	資器材等	計画	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		累計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		当該年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	テント	計画	0	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
		累計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
		当該年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	パーテーション	計画	0	139	139	139	139	139	139	139	139	139	139
		累計	139	139	139	139	139	139	139	139	139	139	139
		当該年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	冬期対策用ス トーフ	計画	34	34	34	54	64	64	64	64	64	64	64
		累計	42	56	64	64	64	64	64	64	64	64	64
		当該年度	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	ジェットヒー ター	計画	0	0	0	8	10	10	10	10	10	10	10
		累計	8	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10
		当該年度	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
32	使い捨てカイロ	計画					7800	7800	7800	7800	7800	7800	7800
		累計					1200	2300	3400	4500	5600	6700	7800
		当該年度					1200	1100	1100	1100	1100	1100	1100
33	扇風機	計画	0	0	0	35	41	41	41	41	41	41	41
		累計	0	0	0	20	32	41	41	41	41	41	41
		当該年度	0	0	0	20	12	9	0	0	0	0	0

(別表3)

アルファ化米（保存期限5年）のローリングストック計画

購入年度		年次 購入数量	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
1年目	R4年度	2,800	購									
	R8年度	2,900					購					
	R12年度	2,700									購	
2年目	R5年度	3,000		購								
	R9年度	2,700						購				
	R13年度	2,700										購
3年目	R6年度	3,000			購							
	R10年度	2,700							購			
	R14年度 (計画期間外)	2,700										
4年目	R7年度	2,800				購						
	R11年度	2,700									購	
	R15年度 (計画期間外)	2,700										
合計備蓄数			12,950	11,500	10,600	11,400	11,500	11,400	11,100	11,000	10,800	10,800

(別表7)

飲料水（保存期限15年）のローリングストック計画

購入年度	年次 購入数量	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
R4年度	400	購									
R5年度	400		購								
R6年度	480			購							
R7年度	400				購						
R8年度	480					購					
R9年度	480						購				
R10年度	400							購			
R11年度	400								購		
R12年度	400									購	
R13年度	400										購
合計備蓄数		4,206	3,950	4,024	4,124	4,524	4,620	4,020	4,420	3,920	4,320

当別町防災備蓄計画

策定・改訂履歴

平成24年8月 当別町防災備蓄計画 第Ⅰ期（平成24～令和3年度） 策定

令和4年4月 当別町防災備蓄計画 第Ⅱ期（令和4～13年度） 策定

令和5年3月 一部改訂（備蓄品にパン、粥（水不要）を追加）

令和6年3月 一部改訂（備蓄品に扇風機、ジェットヒーターを追加 等）

令和7年3月 一部改訂（備蓄品に使い捨てカイロを追加 等）



策定 令和4年4月（最終改訂 令和7年3月）
当別町 総務部危機対策課
〒061-0292 北海道石狩郡当別町白樺町58番地9
電話：0133-23-3801 FAX：0133-23-3206
e-mail：kiki@town.tobetsu.hokkaido.jp